



北海きたえーるで行われた入学式(4月2日)

# 入学式挙行

平成28年度

大学生活へ期待膨らむ新入生

平成28年度の入学式が4月2日、北海道立総合体育センター「北海きたえーる」で行われた。

今年度は、学部学生1部、1543名、2部559名、大学院博士(後期)課程2名、修士課程19名、法科大学院1名、合わせて2124名の新生を迎えた。

式典では、学長の式辞、新入生の宣誓、学部長・研究科長・機関長の紹介、本学吹奏楽団の演奏と混声合唱団のリコーラのリードによる学歌、学生歌、新学生歌が斉唱され、厳粛なうちに無事終了した。新入生は、緊張と期待が入り混じった面持ちで入学を迎えた。

本学は、戦後復興に必要な人材育成を旨とした学園が1950(昭和25)年に設置していた北海道短期大学を改組転換し、北海道で初めての4年制私立大学として誕生しました(1952(昭和27)年)。以来、今日までに、全道一円はもとより、全国各地に散らばる8万3千人を超える卒業生の活躍を支えられて、進化発展を遂げ、4年後の創設70年前に、本学は、北海道を代表する大学という身に余る有り難い評価を頂戴す

**入学を祝して**

これからの学業の中で、様々な事柄に出会うことでしょう。大学時代は、それが終わってからの50年以上の永きに亘って人生を心豊かに送るための備えの時期です。皆さんは、今でなければ、そして、ここでなければ得ることのできない「心友(中江藤樹『翁問答』1650(慶安3)年版)を見つけて欲しい」と願っています。

本学は、教員と事務職員が協働して、皆さんが所定の課程を修め、学位(学士・修士・博士)が授与されるよう、意を用います。皆さんが晴れて卒業の暁に、本学を学び舎とした選択は正しかったと胸を張って言ってください。必ずから進んで、学業に、課外活動に、積極的に取り組み、心置きなく学生生活を堪能することを祈念します。

新入生の皆さんは、健康に十分留意しながら勉強やサークル活動などさまざまなことに取り組み、その後の人生の財産となるような素晴らしい大学生活を送ってほしい。

平成28年度 入学者数

学部	学科	入学者
経済	1部 経済学科	333
	地域経済学科	
	2部 経済学科	145
経営	1部 経営学科	184
	経営情報学科	173
	2部 経営学科	125
法	1部 法律学科	330
	政治学科	
	2部 法律学科	204
人文	1部 日本文化学科	130
	英米文化学科	104
	2部 日本文化学科	39
工	1部 日本文化学科	46
	社会環境工学科	78
	2部 建築工学科	92
	電子情報工学科	65
	生命工学科	54
1部計		1,543
2部計		559
大学計		2,102
大学院計		22
大学・大学院計		2,124

(単位:人)

**学内教育環境整備**

平成27年度補助金事業

本学では、平成27年度の補助金事業である私立大学等改革総合支援事業においてタイプ1(教育の質的転換)およびタイプ2(地域発展)の取組および、これを前提とした私立大学等教育研究活性化設備整備事業、ICT活用支援事業について採択を受けた。

これにより、長年の学内教育環境整備の成果を顕著に表した。この成果は、長年の学内教育環境整備の成果を顕著に表した。この成果は、長年の学内教育環境整備の成果を顕著に表した。

**卒業証書・学位記授与式**

平成27年度卒業証書・学位記授与式が3月20日、北海道立総合体育センター「北海きたえーる」にて行われた(9月期は平成27年9月30日施行)。

学部長・研究科長・機関長に聞く「別海の四季」 河崎秋子

就職・入試インフォメーション

平成27年度 卒業生数/修士・博甲・博乙・法務博数

学部	学科	27年度卒業生数	修士・博甲・博乙・法務博数	累計	
経済	1部 経済学科	181	6	187	19,450
	地域経済学科	135	4	139	1,486
	2部 経済学科	68	12	80	7,412
経営	1部 経営学科	150	3	153	1,776
	経営情報学科	120	5	125	1,482
	2部 経営学科	87	8	95	938
法	1部 法律学科	179	6	185	11,679
	政治学科	104	5	109	1,662
	2部 法律学科	78	12	90	5,220
人文	1部 日本文化学科	144	1	145	1,929
	英米文化学科	108	3	111	1,880
	2部 日本文化学科	35	2	37	788
工	1部 日本文化学科	25	1	26	554
	社会環境工学科	70	4	74	4,110
	2部 建築工学科	64	7	71	4,282
	電子情報工学科	56	8	64	2,474
	生命工学科	54	1	55	54
1部計		1,365	52	1,417	61,030
2部計		389	44	433	19,279
大学計		1,754	96	1,850	80,309

**現代租税の理論と思想**

宮本一鶴 著

現代の租税を深く理解するために、ホッブズなど支出論の源流から始まり、現代までの租税の思想や理論を支出論を中心とした、批判的な検討は税制改革への示唆を与える。

定価(本体四、二〇〇円+税)

有斐閣

**日本の産業と企業**

福川武郎・平野創・板垣 暁 著

石油危機以降、日本経済は急速な産業構造の転換や競争環境の変化に伴う企業再編が進行した。その歴史を踏まえ、日本の主要な産業と企業の動向を明らかにする。

定価(本体二、三〇〇円+税)

有斐閣

**産地再編が示唆するもの**

編集代表 八木 宏典・宮入 隆 著

今日日本の農業は後退する産地が少なくないが、再編して新たに発展しつづける産地も見られる。野菜、果樹、酪農、肉用牛を取り上げ、多様な事例から産地再編の要件を説明する。

定価(本体三、八〇〇円+税)

農林統計協会

# 教育振興会 寄付のお礼と監査報告

教育振興会に平成27年度も多くの個人や法人、団体から寄付をいただきました。皆様の尊いお志にたいし、誠に心よりお礼申し上げます。

平成27年度寄付者ご芳名と、教育振興資金収支決算報告書および監査報告書は次の通りです。今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## 寄付者ご芳名

- 個人(敬称略)
  - 10万円未満
    - 朝倉和光、名塩良一郎
    - 石嶋芳臣、魚住純、小幡卓司、許士達広、草間秀樹、佐藤信、杉本博之、須田一弘、田中綾、中村寿司、福田都代、藤本哲也、真柄祥吾、森下宏美、安酸敏真、他匿名6名
  - 10万円以上50万円未満
    - 市靖、竹田直弘、中川かす子、稗貴俊文、堀内彰、増地あゆみ、水野谷武志、宮入隆、元木邦俊、米坂スザンヌ、他匿名13名
  - 50万円以上100万円未満
    - 奥田仁
- 企業・法人・団体
  - 10万円以上50万円未満
    - 北海学園生活協同組合
    - 北海学園教職員組合
  - 50万円以上100万円未満
    - 金銀非公開 匿名1社

## 寄付金累計

3,329,948、587円

区分	収入の部		支出の部		次年度繰越
	前年度繰越	平成27年度	前年度繰越	平成27年度	
現金当座A	716,866	895,000	75,181	1,300,000	0
現金当座B	898,828	230,000	1,571,173	2,100,000	0
現金当座C	1,271,177	390,000	-	500,000	1,161,177
教育振興金	15,911,090	4,015,000	-	190,000	1,648,379
その他	-	-	1,542	-	1,542
計	18,797,961	5,140,000	1,646,796	4,090,000	1,649,379
区分	金額				
① 現金当座A	5,000 円				
② 現金当座B	1,542 円				
③ 現金当座C	36,739 円				
区分	金額				
北海学園大学教育振興資金 寄付金累計	32,948,587 円				

## 学長室から

平成28年3月31日付で文部科学省高等教育局長から、標題の通知がありました(下記参照)。この通知文書には「職員」には事務職員のほか、教授等の教員や学長等の大学執行部、技術職員等も含まれることとあり、SD活動が事務職員に限定されることなく、全学的に取り組むことが求められるようになりました。

## 「大学設置基準等の一部を改正する省令の公布」(通知)

会規程(以下、規程)と言います。を制定し(平成22年4月1日施行)、全学的にSD活動を推進すべく、学生目線から教育支援と研究支援の体制を組みました。高田徹前事務部長のときの助走期間を経て、木村勝照事務部長が要の位置に着いて以降、その成果が一斉に開花しました。この実績を踏まえて、今年度は、新大学設置基準と規程との整合性を図り、更なる質的向上のための備えに意を用います。

【学長 木村和範】

大学設置基準に新設された条文 平成29年4月1日施行 (研修の機会等 第四十條) 三 大学は、当該大学の教育研究活動等の適切な効果的な運営を図るため、その職員に必要な知識及び技能を習得させ、並びにその能力及び資質を向上させるための研修(……)の機会を設けることその他必要な取組を行うものとする。

## 自著を語る



本書は、私が平成八年一月から一七年三月までの学長在任中、入学式、卒業式(現在の学位記授与式)の式辞を中心に、学内外の刊行物に掲載されたものに若干の補正、加筆を行い収録したものである。

第二章「社会有為の人材に」は、私好みの人間像を提示した。私の価値観の表明である。最初の「国際交流の視点」はまず自国、日本のことをしっかりと知るこの重要性を説いている。四〇年余も前に書いたものであるが、現在にも十分通用するところに現代の問題がある。

第三章で特徴的なのは、東アジアの歴史、植民地政策、南アジアの歴史、歴史の真実である。歴史から学ぶということとは、その両者を含む歴史の

第二章「社会有為の人材に」は、私好みの人間像を提示した。私の価値観の表明である。最初の「国際交流の視点」はまず自国、日本のことをしっかりと知るこの重要性を説いている。四〇年余も前に書いたものであるが、現在にも十分通用するところに現代の問題がある。

第四章「本学の歩み」には、学生諸君が単なる受け手ではなく、積極的な参加者として大学の歴史を形成する時代を本学で過ごしていただいたことを感念の場から発言を中心とした。第一章には大学改革など、エネルギーが分散する「動的な部分」、また第四章には「静的な部分」を紹介している。

第五章は忙中閑静と題して、いくつかのテーマについて現在の考えを述べた。

大学で学ぶということは、宝の山を掘り出すピッケルの使い方や学ぶようなものである。この章に載せた文章は、岩山から掘り出したばかりの鉱石で、これらをいかに精錬して上質な貴金属へと昇化させるかが課題なのである。

読者諸君が自らの「大海原」をどこに求められているのか、私はそれを何よりも知りたい。

## 大海原の彼方へ

ロフティ・アンビションを内に秘め 名誉教授(第七代学長) 熊本 信夫 共同文化社 2016年

現実に対する間接的・直接的批判である。太平洋戦争の激戦地となった東南アジア・太平洋の国々に行き、諸君と同年代の兵士たちが命を落とした大地に立ち、兵士達の運命に思いを至し、戦争にはどのような意味があったのかに深く思いを巡らせたことであると試みた。

また、第一章に「本学の使命」と題して、教育改革、大学院の発展計画(社会人の博士課程の創設)、北海道大学と単位互換協定など、表題に関連する問題を取り上げた。

また、第一章に「本学の使命」と題して、教育改革、大学院の発展計画(社会人の博士課程の創設)、北海道大学と単位互換協定など、表題に関連する問題を取り上げた。

また、第一章に「本学の使命」と題して、教育改革、大学院の発展計画(社会人の博士課程の創設)、北海道大学と単位互換協定など、表題に関連する問題を取り上げた。

## 名塩良一郎同窓会副会長 朝倉利光名誉教授(前学長) 感謝状贈呈

学校法人北海学園は、顕著なご貢献を果たされた寄付者(前)として、森本正夫理事と学長の連名による感謝状をお渡ししています。

ここに感謝状の贈呈をご報告するとともに、お二人に對して重ねて衷心よりお礼申し上げます。

教育振興会は、建学の精神を体得するために学業に勤しむ優秀な学生に対して奨学金を給付し、寄付者が本学に寄せるご期待に添うべく努めます。

ここに感謝状の贈呈をご報告するとともに、お二人に對して重ねて衷心よりお礼申し上げます。

教育振興会は、建学の精神を体得するために学業に勤しむ優秀な学生に対して奨学金を給付し、寄付者が本学に寄せるご期待に添うべく努めます。

ここに感謝状の贈呈をご報告するとともに、お二人に對して重ねて衷心よりお礼申し上げます。

教育振興会は、建学の精神を体得するために学業に勤しむ優秀な学生に対して奨学金を給付し、寄付者が本学に寄せるご期待に添うべく努めます。

ここに感謝状の贈呈をご報告するとともに、お二人に對して重ねて衷心よりお礼申し上げます。

熊本地震で被災された皆さまへ このたびの熊本県熊本地方を震源とする地震により亡くなられた方々に心から哀悼の意を表しますとともに、ご遺族に謹んでお悔やみを申し上げます。また、負傷された方々や避難生活が続いている方々に、心からお見舞い申し上げます。被災された皆様の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

災害復興支援「義援金」に関するご報告 本学では、4月18日から4月28日まで豊平・山鼻両キャンパスに義援金募金箱を設置し、災害復興支援「義援金」のご協力をお願いしておりました。集まった「義援金」(103,604円)は被災者へ確実にお届けするよう5月2日に日本赤十字社に届けました。ご協力、ありがとうございます。

カナダ・アルバータ州レスブリッジ大学と北海学園のさらなる交流発展を期し、1981年から教員交換の交流事業、その後学生交換事業を開始し、今年で交流35周年を迎えた。これを機に、レスブリッジ大学からマイン学長夫妻、ヴァザリー総長夫妻として、パン国際交流センター長の5名が、5月17日

に北海学園を来訪され、今後交流協定の更新締結を行う。また同日夕刻からは、ホテルライフォート札幌において、交流35周年記念祝賀会を開催し、森本理事長、木村学長はじめ北海学園大学と北海商科大学の学部長・機関長、国際交流事業に関わる

レスブリッジ大学マイケル マーン学長(左)と学校法人北海学園 森本正夫理事長

35周年を盛大に祝した。



名誉教授称号記授与式 前列左から小田清名誉教授、太田和宏名誉教授、木村学長、吉田敏雄名誉教授、常見信代名誉教授、後列左から佐藤信経済学部長、石嶋芳臣経営学部長、真柄祥吾工学部長、草間秀樹法学部長、上野誠治人文学部長

【略歴】昭和51年京都大学大学院農学研究所博士課程退学、取得退学、昭和52年北海学園北見大学商学部講師、昭和56年同助教授、昭和59年本学経済学部助教授、昭和61年同助教授(開発政策論を担当)、平成7年同大学院経済学研究科博士(後期)課程担当(開発政策論特殊研究Iを担当)、昭和55年農学博士(北海道大学) 【主な著書】「地域問題をどう解決するの」地域開発政策概論、「地域開発政策と持続的発展」開発計画と地域政策、北海道の現実から」

【略歴】昭和46年北海道大学 【主な著書】「論」『刑法理論の基礎』、『不正不作為犯の体系と構造』、論文：『Punitivity Today in Japan, in: Punitivity, International Developments』

【略歴】昭和46年北海道大学大学院法学研究科修士課程修了、文学修士(北海道大学)、昭和46年北海道女子短期大学、昭和62年北海道女子短期大学、平成5年札幌国際大学短期大学部(旧静修短期大学)、平成9年札幌国際大学人文・社会学部を経て、平成11年本学人文社会学部教授(ヨーロッパ史概論I)を担当、平成17年同大学院文学研究科博士(後期)課程担当(英米歴史文化特殊研究IIを担当) 【主な著書】『論』、『ヨーロッパ中世女性誌』、『婚姻・家族・信仰をめぐって』、『翻訳(監訳)』、『オックスフォードブリテン諸島の歴史』、『ポスト・ローマ』、論文：『修道院パルキアの再検討』、『アイオナを中心

## 名誉教授の称号授与

本年3月31日付をもって退職された太田和宏先生(元経済学部教授)、小田清先生(元経済学部教授)、吉田敏雄先生(元法学部教授)、常見信代先生(元人文学部教授)の、永年に亘る教育研究、大学運営、社会活動のご功績に對して、本学名誉教授の称号が木村和範学長より授与された。

【略歴】昭和52年北海道大学大学院農学研究所博士課程単位取得退学、昭和52年北海学園北見大学商学部講師、昭和56年同助教授、昭和59年本学経済学部助教授、昭和61年同助教授(開発政策論を担当)、平成7年同大学院経済学研究科博士(後期)課程担当(開発政策論特殊研究Iを担当)、昭和55年農学博士(北海道大学) 【主な著書】「地域問題をどう解決するの」地域開発政策概論、「地域開発政策と持続的発展」開発計画と地域政策、北海道の現実から」

【略歴】昭和46年北海道大学 【主な著書】「論」『刑法理論の基礎』、『不正不作為犯の体系と構造』、論文：『Punitivity Today in Japan, in: Punitivity, International Developments』

【略歴】昭和46年北海道大学大学院法学研究科修士課程修了、文学修士(北海道大学)、昭和46年北海道女子短期大学、昭和62年北海道女子短期大学、平成5年札幌国際大学短期大学部(旧静修短期大学)、平成9年札幌国際大学人文・社会学部を経て、平成11年本学人文社会学部教授(ヨーロッパ史概論I)を担当、平成17年同大学院文学研究科博士(後期)課程担当(英米歴史文化特殊研究IIを担当) 【主な著書】『論』、『ヨーロッパ中世女性誌』、『婚姻・家族・信仰をめぐって』、『翻訳(監訳)』、『オックスフォードブリテン諸島の歴史』、『ポスト・ローマ』、論文：『修道院パルキアの再検討』、『アイオナを中心



経営学部教授

大平 義隆



トピックス43

授業の風景

— 私語のなかつた時と今 —

連休明けの1年生の授業、学生は減ることなく3人掛けの席を埋めています。私は、講義の中で質問を学生にしています。内容は、予習した箇所をたずねたり、授業の内容把握具合をたずねたり、事物の知識などです。教室のどこかで誰かが手を挙げる、と、どことなく手が上がってきます。前から後ろまで順序よく挙がるわけではないので、緩やかな階段教室を行って、

法学部教授

館田 晶子



未来展望

18歳選挙権の実現が及ぼす影響

選挙権年齢を18歳に引き下げた改正公職選挙法が、改正から1年経つ2016年6月19日に施行され、7月の参議院議員選挙から、18歳以上の有権者が誕生する。学校における主権者教育の課題については学報103号の当コーナーです。山本健太郎先生が論じておられる。18歳選挙権をめぐる話題として若者の政治参加が関心を集めるのは必然だが、法学の観点からは他にも注目のべき点がある。それは、

研究室の窓

経済学部教授 浅妻 裕



私の中心的な研究テーマは、静脈産業(特に自動車リユース・リサイクル関連産業)の国際展開や流通実態を明確化し、①環境の観点からその政策に関する課題を明らかにする②(環境経済・政策論的研究)③静脈産業特有の立地や流通パターンを見出すこと(経済地理学的研究)です。日本は新車の輸出大国ですが世界有数の中古車・中古部品の輸出大国

産業の静脈部に関する経済学的研究

でもあります。主に新興国に輸出されますが、各国の産業政策や環境政策により輸入規制が頻りに変更されます。それでも世界各地で需要がある限り、輸出先の変化を伴いながらビジネスは続いてゆきます。現地では安価に自動車や中古部品を調達できますが、利用時や廃棄時の環境問題も考慮する必要があります。過去に日本で発生した廃車処理に伴う環境問題などと同様の状況が発生しうるのかどうかを検討したうえで、輸出入時あるいは現地の関連制度について考える必要があります。また中古品の流通を追いかけていると様々な興味深い現象に直面します。その一つが外国人によるビジネスです。日本国内でも様々な国の外国人がバイヤ



ヤンゴンの中古部品市場。ムスリムなど少数民族が主たる担い手



石狩市リサイクルプラザにて選別状況の視察

として来訪したり自ら輸出ビジネスを行ったりします。また、千葉県四街道市など、その大規模な集積が各地でみられています。この現象を経済(地理)学的にどのように捉えればよいのか検討を行ってきました。最近GIS(地理情報システム)を利用した研究にも関心を持っており、GISとは、様々な情報を位置情報とリンクさせて表示したり、目的に応じてその結果を解析したりすることです。例えば数値で示された札幌市内各区の人口増減データと地図をリンクさせ、区ごとに増減数や増減率に応じて色分けをしたり、商圈分析を行ったりします。これまで廃棄物・リサイクル分野に携わってきました。そのまま現場で利用できる

【専門・環境経済政策論】



チュールリッヒ大附属民族学博物館

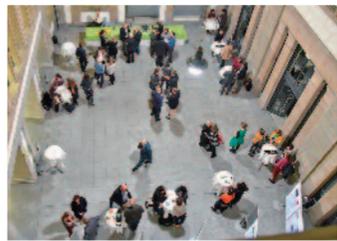


人文学部教授 手塚 薫

昨年の10月から今年2月までチュールリッヒ大学のアジア・オリエント研究所を拠点に在外研究をおこなった。研究の目的は、数年来実

アジア・オリエント研究所の交流スタイル

施中のヨーロッパ主要民族学博物館のコレクション調査を継続することであったため、ダウンタウンにある大附属の民族学博物館で過ごすことも多かった。一方、研究所はリマト川右岸の閑静な高台にあり、古都の中心部を見下ろすことができる。絶好のロケーションにある。改装されたばかりで独立した4階建ての研究所には、アジア・オリエント研究所の拠点に在りて、数年来実



講演会後の立食パーティー

と交流を深めることができているので、教職員が建物の外に出ようとする、かならずここを通過しなければならぬ。したがってパーティーへの出席率は非常に高い。ただし、20・30分で引き上げる人もいるがもちろんそれは自由である。場所を大きく変え、改まった懇親会の席を



経済学研究科長 森下 宏美 教授

経済学研究科の特色は？ 森下先生 経済学研究科はこれまで200名以上の修了生を輩出している、本学の中でも一番古い研究科です。2003年に地域経済学科が...

人文文学部の特色は？ 上野先生 人文文学部では言語学や文学、歴史や思想、文化人類学などいろいろな分野から人間性や物事の本質を深く考え...



人文文学部長 上野 誠治 教授

「人文文学の挑戦」を開催して 上野先生 『人文文学の挑戦』は教員の研究成果を社会に還元しようというイベントで、来場者も...

少人数の演習で切磋琢磨

上野先生 人文文学部では、今年度より、社会に出てから様々なことに対応できるように人間力を育てていくことを目指しています。1年次の基礎演習、2年次の「人文演習」、3年次の「専門演習」...

地域に貢献する人材育成

若くは教員たちからも大学院時代のことや研究の心構えなどについて話してもらおう機会を設けています。 研究科長としての抱負を。 森下先生 多くの人に大学...



新学部長 研究科長 機長に聞く！

今年度就任した人文学部学部長・上野誠治教授、経済学部長・森下宏美教授、法学部長・鈴木美佐子教授、学生部長・鈴木美佐子教授、学務部長・鈴木美佐子教授、保健部長・鈴木美佐子教授、学生部長・鈴木美佐子教授、学務部長・鈴木美佐子教授...



学生部長 鈴木 美佐子 教授

最近の学生気質の変化など 鈴木先生 この大学の特色が、真面目で、誠実で、失敗を怖がらない、失敗を怖がらない、失敗を怖がらない...

多くの「失敗」から学んでほしい

鈴木先生 この大学の特色が、真面目で、誠実で、失敗を怖がらない、失敗を怖がらない、失敗を怖がらない...

平成28年度 新任教員あいさつ

Faculty introduction section including: 経済学部 石井 健, 経営学部 田中勝則, 法学部 瀨川行太, 工学部 佐藤晴彦, 人文文学部 小松かおり, 法務研究科 岡田信弘, 法科大学院 奥田真与, 新任職員紹介 毛利優子.

# 別海の四季 ①

河崎 秋子

## 夏

子どもの頃、本州の学校は夏休みが長いと知って、とても理不尽に感じた覚えがある。こころはお盆を過ぎると残りの宿題の心配をしなげればならないのに、本州の子は八月いっぱい遊んでいらるなんてすごい！と。

代わりに北海道は冬休みが長く設定されていると言われても、私は全然嬉しくなかった。どうせ雪に覆われて外出もままならず、「ヒマなら勉強で」

## 道東の短すぎる夏

「ヒマなら勉強で」と言われるのがオチなのだ。それより、北国の短い夏に目いっぱい遊びをして、一日でも長く楽しめた方がよっぽどありがたい。

北海道の中でも、私が育った道東は特に夏が短いように思う。海流の関係で海霧が多く、涼しいどころか時に寒



青空の下、ひねもす食べては昼寝の羊たち(提供:筆者)

さが一因らしい。札幌で花屋のバイトをしていた学生時代の、道東では露地でトマトが作れるのだと知った時は驚いた(実家ではビニールハウス必須だったのだ)。他にも道央では宿根草として育てられる花が道東では一年草になってしまったり、植生がらしてがらっと異なっている。...

本号から、本学OG河崎秋子氏(経済学部平成13年度卒・49期生)が執筆する『別海の四季』を連載する。河崎氏は別海町で酪農と牧羊を本業とし、仕事を離れて執筆活動を行っている。小説『颯風の王』で2014年に三浦綾子文学賞、2015年度JRA賞馬事文化賞を受賞。

最近では夏のこの涼しさを逆手にとって、釧路を中心として夏季の短期移住者を積極的に受け入れている。...

### 同窓生の声

札幌市 都市局 建築部 建築工事課

頼所 育子

工学部建築学科 (平成25年度卒・43期生)



市内には小中学校や市立高校、札幌ドーム、円山動物園、各区役所やまちづくりセンター、消防庁舎など、市が所有する様々な建物がありますが、それら市有建築物の設計と工事の監督が主な業務です。

## ものづくりの醍醐味とやり甲斐

夏の繁忙期にはほぼ毎日、現場に行きます。1年目は業界用語がわからず、わからない単語をメモし、後から調べて次に活かしていくという勉強の毎日でした。仕事は、設計事務所や施工会社など各分野のプロの方々と一緒に遂行していきますが、私はゼネラリストとして市民との架け橋となる役割。やり甲斐があり、建物ができあがるのが感慨深く、達成感を感じています。

建築工事課には現在、女性の技術職が8人います。上司や同僚にも恵まれます。特に本学出身の上司も多く、大変心強いです。

公務員試験の勉強は大学2年の後半から始めましたが、志望先を公務員と決めていた訳ではありませんでした。3年次になり本格的に

目指すことを決めたのは、地元札幌に対する愛着と、建築の勉強を進めていくなかで、これだけの豪雪地域に195万人の人が住み世界をみても類を見ない札幌で建築の仕事に就きたいと思ったからです。

卒業研究は環境工学の佐々木博明先生の研究室で、熱交換換気装置の研究しました。熱を逃がさないように換気し熱効率のいい気密住宅について、実際に一軒家を二冬借りて実験しました。こういった研究から、札幌の人々が安心、安全、快適に暮らせるために役に立ちたいと、より強く思うようになりました。

また、3年の夏休みに10日間ほどのインターンシップに参加し、研修先が偶然にも現部署でした。仕事内容や職場の雰囲気を知ることが勉強の毎日です。

目指すことを決めたのは、地元札幌に対する愛着と、建築の勉強を進めていくなかで、これだけの豪雪地域に195万人の人が住み世界をみても類を見ない札幌で建築の仕事に就きたいと思ったからです。

卒業研究は環境工学の佐々木博明先生の研究室で、熱交換換気装置の研究しました。熱を逃がさないように換気し熱効率のいい気密住宅について、実際に一軒家を二冬借りて実験しました。こういった研究から、札幌の人々が安心、安全、快適に暮らせるために役に立ちたいと、より強く思うようになりました。

また、3年の夏休みに10日間ほどのインターンシップに参加し、研修先が偶然にも現部署でした。仕事内容や職場の雰囲気を知ることが勉強の毎日です。

## 部局 開発研究所 紹介



開発研究所の資料室

北海道の経済や社会の発展に寄与することを目的に、初代学長上原徹三郎が1957年に開設した開発研究所。現在は経済、経営、法、人

文、工学の各学部教員143名と、特別研究員17名、委託研究員2名、客員研究員3名で構成し、それぞれの専門領域を生かした総合的な研究を行っている。

開発研究所・楠智裕事務長は「開発」という言葉を聞くに、木を伐採したり、山を削ったりという行為や、港や河川などの整備をイメージしがちですが、他にも技術開発

や商品開発、人材開発、教育開発などいろいろあります。本研究所は学内唯一の学部を越えた研究拠点で、テーマを設定しそのテーマに沿って先生が集まって研究しています」と特徴を語る。

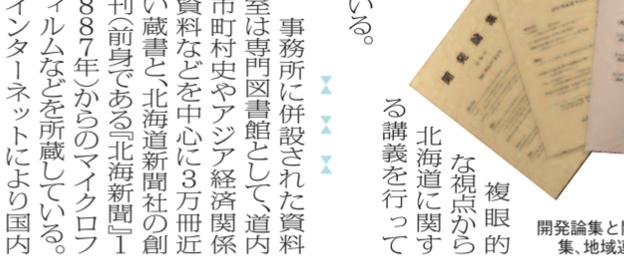
具体的には、1つのテーマについて2〜3年にわたって実施される。2015年から2017年のテーマは「北

自治体と連携して、一般市民を対象に「開発特別講座」を開催。昨年度で35回を数えた。今年度は11月に中頓別町で開催予定である。

その他にも各種の講演会やシンポジウム、研究会などを開催して、本学の教育・研究成果を広く社会に還元している。

学生には、一般教育科目として開発研究所特別講義を開講し、各学部の教員による

## 地域活性化に向けた総合研究



開発論集と開発特別講座記録集、地域連携特別講座記録集

複眼的な視点から北海道に関する講義を行っている。

事務所に併設された資料室は専門図書館として、道内市町村史やアジア経済関係資料などを中心に3万冊近い蔵書と、北海道新聞社の創刊(前身である「北海新聞」1887年)からのマイクロフィルムなどを所蔵している。インターネットにより国内

各種の図書館のデータベースや北海道新聞のデータベースも利用できる。

以上が開発研究所の業務の大きな柱であるが、その他にも「地域連携推進機構」という学内組織の事務を担当し、外部組織の専門図書館協議会(以下、専図協)北海道地区連絡会の事務局にもなっている。

地域連携推進機構では、地域発展に寄与するため学生の社会貢献活動を充実させるためにこの4月から電子黒板やフィールドワークなどに使用する48台のタブレットを導入した。また、昨年度、第1回地域連携特別講座を北広島市で開催。今年度も同市で開催する予定である。

専図協は、企業や大学、官公庁などの図書館や資料室と連携し、研修会開催などを通して各図書館員のスキルアップや連携を強化させ活性化を図っている。

今後は、道内の市町村史と道内企業の社史を充実させて行く方針だ。

楠事務長は「地域を知るためには歴史から見ていくことも重要。学生にもっと本研究所を利用してほしい」と呼びかける。

## 韓国・ロシアから交換留学生

平成28年度も本学の各交流協定校から留学生を迎え、3月29日に3名、ロシア・シベリア交通大学からは4月4日に3名が到着。また、ロシア・ノボシビルスク大学からは4月5日に3名、同じくロシア・サハリン大学からは4月6日に1名が無事に到着した。

留学生の皆さんには、滞在中健康に留意し、日本の伝統・文化に積極的に触れ、



ノボシビルスク大学・サハリン大学・シベリア交通大学の交換留学生の皆さんと教職員

交流協定を締結しているカナダ・レスブリッジ大学から、本年度前期の交換教員として、アーカートステイブーン文理学部准教授が着任した。

7月末までの滞在期間中、「カナダの自然と社会I」の講義を担当する。



カナダの自然と社会Iの講義の様子

新施設紹介

(※のみ山鼻キャンパス、他は豊平キャンパス)

[第1面つづき]



図書館4階 アクティブ・エリア Group Study Room 2



図書館4階 アクティブ・エリア Active Learning Room 2



図書館4階 アクティブ・エリア Active Learning Room 1



図書館4階 サポートデスク



図書館3階 サイレント・エリア



図書館2階 ワーク・エリア



図書館1階 ラウンジ



図書館入口横のデジタルサイネージ



地域連携推進機構 会議室



地域連携推進機構の電子黒板



地域連携推進機構のPCとタブレット



32番教室



60番教室



21番教室



電子計算機室※



1号館エレベータ※

アセスメントテスト 「大学生基礎力レポート」 2年生に実施

今年度から2年生全員を対象にアセスメントテスト「大学生基礎力レポート」を実施します。

このアセスメントテストはすでに全国の大学で実施されているもので、全国70大学約3万人受検し、学生に対して「成長」「充実」「満足」などにつながる要因を調査を実施し、その結果を...

分析結果を将来のために

や経験の振り返り、②社会で求められる力(どのような経験をしていく必要があるか)、③将来の進路(進路適正・職業分野志向)今後必要な意識・行動、④行動計画(今後の行動を具体化)に分けられ、在りたい姿とのギャップを埋めるためのステップがわかりやすく理解できる内容になっています。実施期間は6月17日(金)〜7月2日(土)、学生個人...

建築学科16卒 日本建築学会北海道支部賞金賞



河中宗一郎氏 2015年度日本建築学会北海道支部賞金賞受賞作品「湖水の景」



河中さんの金賞受賞作品「湖水の景」

学生活動 Vol.15

4月18日から24日、デンマークのロドビーで行われた2016年度世界ベンチプレス選手権大会に、パワーリフティング部・伊藤壮士さん(経済学部3年)がジュニア93kg級に出場し、205kgを上げて見事、準優勝に輝いた。この記録は、自己ベストを32.5kg更新したもので、初めての国際大会での堂々たる結果に伊藤さんは「出場記録では4位だったので2位は嬉しかったが、さらに上がある。来年も全日本選手権に挑戦したい」と意気込みを語っている。

世界ベンチプレス選手権 Jr93kg級 準優勝



パワーリフティング部 伊藤 壮士 経済学部地域経済学科3年

権の世界大会の出場権を取れるように頑張りたい」と、すでに次の目標に向かっていく。須田一弘部長(人文学部教授)のコメント 「世界大会やアジア大会にこの数年で7名が出場しているが、そのためには基準となる記録を出さなければならぬので、相当実力はついてきている。以前世界記録を持っていた実力と指導力のある監督から指導を受けたら、OBたちも時々練習に来て指導にあたってることが大きい。OBは「筋肉増強馬鹿力」という団体名で試合にも出て活動している。部の目標は、インカレでの団体優勝。それから、女子にもぜひ入部してほしい」と意気込みを語っている。



阿部 久仁光 経済学部 地域経済学科3年

なぜ地域経済学科に? 阿部 実家は北竜町の中山間地で農業をやっている。農業や地域に関わることを学ぼうとこの学科を選びました。入学時から週末には実家に帰り、家の仕事を手伝って札幌に戻り、また月曜から大学で勉強するという生活を続けています。

私の学び

農業に携わり地域に貢献したい

阿部 農業経済学の宮入先生のゼミです。昨年11月にはゼミで和寒町へ行き、少子高齢化や地域経済の衰退など、和寒町が抱える問題について、役場や農協、農園の方々と一緒にアタリを打っていました。また、現地の高校生と、地域活性化に向けたイベント企画などについていろいろ話し合いました。これらのフィールドワークの成果は、ゼミ生で手分けして報告書を作成し、ゼミ長として私は総論を書いて一冊にまとめて、役場にも提出しました。



カウンセリングを担当する先生 渡邊 紀子先生 非常勤講師 田中 勝則先生 経営学部講師

学生生活の悩みは 学生カウンセリング室へ

新年度が始まりましたが、皆さま、いかがお過ごしでしょうか。新しい環境にまだ慣れず、戸惑いを感じている新入生、様々なチャレンスを試み、成功や失敗の体験を重ねながら自己を確立している在籍生、そして得た知識や経験を携えて、社会での活躍の場を模索している就活生など、学年によって抱える課題や心持ちも異なることとあります。意欲的に取り組んでいけるよう、心と体の両方をサポートする学生カウンセリング室へ、と、むしろ相談できる力や勇気のある人こそ素晴らしいと思うことが多いです。本学では、今年度より着任されました田中勝則先生と私の2名体制で相談に応じております。ご自身の心の健康維持のためにも、問題の大小に関わらず、どうぞお気軽にご相談ください。(カウンセラー 渡邊紀子)

【受付・予約方法】 初め利用する時は、医務室で予約をしてください。直接医務室に来て予約しても、以下の電話もしくはE-mailで予約しても構いません。なお、どちらのキャンパスでの利用を希望されるかについても予約の際に教えてください。 ■豊平キャンパス ☎011-841-1161 (内線2236) ■山鼻キャンパス ☎011-841-1161 (内線7710) E-mail: hg-sdt@tyhr.hokkai-s-u.ac.jp (メールの場合すぐにお返事できない場合もあります) 【受付時間】 ■豊平: 平日9:00~12:40/13:40~21:00 ■山鼻: 平日9:00~12:40/13:40~17:00 【利用できる人】 ●本学在籍生 ●在学生の家族(在学生に関する相談のみ) ●本学の教職員(在学生に関する相談のみ)



盛岡会場 アイーナ (いわて県民情報交流センター)

2017年度一般入学試験 盛岡試験会場、新設

2017年度一般入学試験より、一般入試における東北地域の試験会場は、青森市から盛岡市へ移転します。青森試験会場は、青森・秋田・岩手地区からの受験生を確保し、異なる個性を有する高校生を入学させたいとの目的で、1996年度に開設された道新幹線開通に伴い、函館・青森間は1時間半で移動が可能となりまし...

就職 INFORMATION 2015年度も好調 特に女子就職率UP!!

2016年3月卒業生の就職状況がまとまりました。紙幅の制約から約250社を表1にまとめました。650社を超える企業等に1438名が就職しました。どの卒業生も建学の精神(開拓者精神)の担い手として、それぞれの職域で活躍することを期待しています。就職率は、表2に要約しました。昨年度は、企業の採用開始時期が8月解禁という点で、企業も学生も対応に困惑したという話もありましたが、本学の状況としては、全般的に前年同様に堅調な結果となりました。特に女子学生の就職率が高く...

2016年度 進学相談会

各会場とも入場無料、事前の申込みは不要です。

個別相談ができる会場(道内会場)

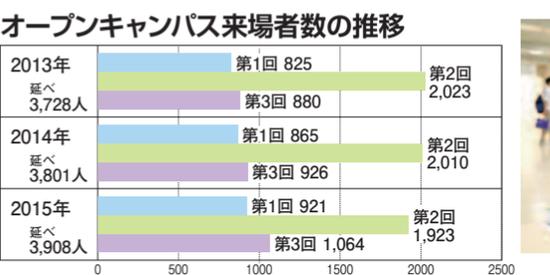
Table with columns: 開催月日, 開催場所, 会場名, 開催月日, 開催場所, 会場名. Lists various venues and dates for the 2016 career consultation event.

個別相談ができる会場(道外会場)

Table with columns: 開催月日, 開催場所, 会場名, 開催月日, 開催場所, 会場名. Lists venues and dates for the 2016 career consultation event outside Hokkaido.

2016年度 オープンキャンパス. Details for the 2016 Open Campus event, including dates (6/26, 8/7-8, 9/25) and locations (Aomori, Nemuro, Aomori).

キャンパス 2016. Information about the 2016 Open Campus event, including dates and locations.



学生スタッフによる相談会の様子

表1 2016年3月卒業生 業種別就職先と人数

Table listing employment destinations for graduates by industry, including public sector, private sector, and various companies.

※紙面の都合から主な就職先約250社を掲載しました。

表2 2016年3月卒業生就職状況

Table showing the employment status of graduates by department and gender, including job rates for men and women.

学長室訪問. Information about the 2016 Open Campus event, including dates and locations.

2016年度 保護者懇談会・ミニオープンキャンパス. Details for the 2016 Parent Meeting and Mini-Open Campus event.

大学院進学説明会. Information about the Graduate School Admission Explanation Meeting, including dates and locations.

2017年度 北海学園大学 編入学・転入学試験日程

Table showing the schedule for the 2017 admission and transfer examination, including department, subject, and exam dates.

2017年度 北海学園大学大学院 入試日程

Table showing the schedule for the 2017 graduate school entrance examination, including department, subject, and exam dates.

※法学部2年次編入・転入学試験はII期のみ実施。

Table showing the schedule for the 2017 admission and transfer examination for special admission, including department, subject, and exam dates.

※詳細は募集要項をご確認ください。 URL http://hgu.jp/

Table showing the schedule for the 2017 graduate school entrance examination for doctoral (postgraduate) students, including department, subject, and exam dates.